

丹波地域 都市計画区域マスタープラン（概要）

目標年次

「ひょうごビジョン2050」の展望年次である令和32年（2050年）の都市の姿を展望しつつ、目標年次を令和12年（2030年）とする

地域の魅力・強み

- 都会に近い田舎
- 自然との共生
- 歴史的なまちなみ
- 全国に名高い特産品

地域の課題

- 土地利用
都市機能の維持・集積
開発需要に対する計画的な土地利用の誘導
- 人口減少・高齢化に対応した地域活力の維持
空き家等の管理、日常生活の利便性の確保
集落でのコミュニティや生活環境の維持
- 自然環境との共生
森林・里山・農地・河川等の適正な利活用・管理
- 水害のリスク
気候変動の影響による水災害の激甚化・頻発化

目指すべき都市構造

- 各市の地域拠点間での都市機能の相互補完と阪神地域や京都府等の地域外との連携強化による広域での都市機能の確保
- 交流人口の増加による地域の活性化に向け、広域交通ネットワークの強化により滞在型観光等の広域的な交流を促進



区域区分の決定

都市計画区域	篠山、丹波
区域区分の有無	無（非線引き）

都市づくりの重点テーマ

- 「森」の保全と活用
- 歴史的なまちなみの保全・活用と防災性向上
- 美しい農村・田園景観と農地の保全
- 集落の地域コミュニティ維持

都市づくりに関する方針

(1) 土地利用に関する方針	<ul style="list-style-type: none">➢ 美しい田園景観を生かしたまちづくりを重層的な土地利用コントロールにより推進➢ 用途地域や地区計画等を活用し、地域活力の維持・向上に必要な機能を確保
(2) 都市施設に関する方針	<ul style="list-style-type: none">➢ 北近畿豊岡自動車道等の基幹事業ネットワークによる広域的な交流の促進、東播丹波連絡道路の未事業化区間の早期事業化➢ 篠山城跡周辺等の交通集中緩和に向けた都市計画道路の整備、公共交通や自転車の利用促進➢ コミュニティバスの運営やデマンド交通の運行支援など、地域の状況に応じた移動手段の確保 〔多紀連山等の豊かな自然の保全／河川や史跡と一体となった身近な緑を保全／治水・利水、生態系、景観等に配慮した河川整備を推進〕
(3) 市街地整備に関する方針	<ul style="list-style-type: none">➢ 歴史的なまちなみを有する篠山や柏原の城下町等での古民家や町家等を活用した観光交流を促進➢ 建築物の不燃化等に加え、避難体制の整備等ソフト対策と一体的な防災対策を推進 〔県立柏原病院等の跡地の利活用や丹波の森公園周辺等における計画的な市街地の形成〕
(4) 防災に関する方針	<ul style="list-style-type: none">➢ 緊急輸送道路の整備や橋梁の耐震化等による緊急輸送体制の確保➢ 建築物の耐震化・不燃化、上下水道等のライフラインの耐震化を推進 〔総合治水条例に基づく治水対策／災害レッドゾーンにおける市街化の抑制〕
(5) 環境共生に関する方針	<ul style="list-style-type: none">➢ 篠山川や加古川等の水辺空間の保全、森林や緑化空間とつながる水と緑のネットワークを形成➢ 緑条例による開発誘導や「農」との調和による自然・田園環境の保全 〔ZEH等による住宅・建築物の脱炭素化／森林保全や里山の整備・活用、都市における森林資源の活用を推進〕
(6) 景観形成に関する方針	<ul style="list-style-type: none">➢ 多紀連山等の山々、篠山川や竹田川、それらに囲まれた盆地等の「丹波の森」を形成する自然景観を保全➢ 篠山城跡周辺や柏原等の城下町や福住等の宿場町、上立杭の陶芸の里等の歴史的なまちなみを保全・活用
(7) 地域の活性化に関する方針	<ul style="list-style-type: none">➢ 自然や景観等を生かし、都市住民との交流、移住定住、大学連携を推進➢ 篠山城下町地区等の地域資源を生かした誘客、丹波ブランドの発信等による観光交流を促進➢ 地域コミュニティを支える拠点において、生活サービス機能の維持・集約

対象地域

篠山都市計画区域
(丹波篠山市)

丹波都市計画区域
(丹波市)

